

須木中だより

第9号 令和元年9月2日発行

9月に入りました 1日「防災の日」

朝、晩は少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。しかし、8月後半から、ぐずついた天気が続き、さわやかな秋晴れを見たい気持ちになります。



8月26日から1学期後半が始まり、通常の学校生活に戻りました。

そして9月。昨日1日は『防災の日』でした。1923年9月1日に発生した10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」に由来しています。

本校では先月27日（火）に、地震を想定した避難訓練を実施しました。雨のため、急遽、避難場所を体育館に変更して実施しましたが、子どもたちは、緊急放送を聴き、先生方の指示を受けて素早く体育館に避難していました。

担当の先生から、「この避難訓練に毎回、真剣に取り組むことが自分の命を守ることに繋がります。」といったお話がありました。



先週の九州北部を襲った猛烈な雨。今後、私たちの身近な地域でも起こりうる可能性があります。防災に対する理解と実践力を身に付けてほしいと思います。

避難訓練は、防災について考える良い機会となりました。

第2回「お弁当の日」

9月9日（月）は2回目の「お弁当の日」です。



食に対する関心を高め、感謝の心を育てるための取組です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

家庭教育学級視察研修

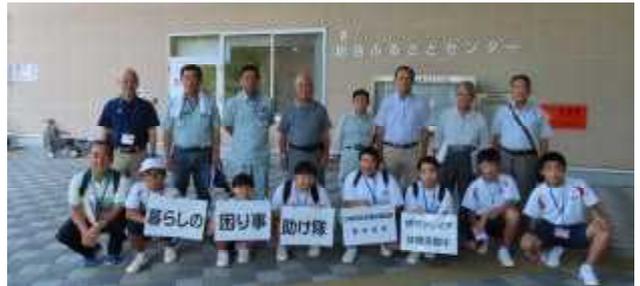
7月29日（月）に第2回小中合同研修として視察研修が行われました。都城きりしま支援学校小林校小学部での施設見学、また午後は、都城市高城にある陶芸工房「幸の陶」で体験等の学習が行われました。

ベーカリーキッチン「SAKURA」で楽しく昼食をとり、充実した視察研修だったようです。参加された保護者の皆様、引率していただいた教頭先生方、ありがとうございました。



地域でのボランティア活動

8月17日（土）に小林市社会福祉協議会須木支所主催の「暮らしの困り事たすけ隊」、「すきすき食堂」が行われ、7名の生徒が参加してくれました。3つのグループに分かれて、高齢者の方のご自宅を訪問し、サッシや網戸の清掃、樹木の剪定や除草作業を行いました。また、午後からは料理の配膳や片付けを頑張っていました。校内から地域へボランティア活動の場を広げていくことは大切なことだと感じました。参加した生徒のみなさん、お疲れ様でした。市社会福祉協議会須木支所長の田代様、担当の末永様、ありがとうございました。



～お知らせ～

数学担当の吉村政文先生が、9月20日（金）まで、『リーダー研修』に長期の出張をしております。数学の授業については、各学年週1時間（ドリル学習）しか入れてありませんが、出張中の授業については7月までに終わっております。ご理解とご協力をお願いいたします。